

いの流水俳壇

兼題「猫柳」

松尾 満津於選

猫柳川を隔てて牛の声

井上 郁子

〔評〕猫柳は早春の季語。作者は川の辺に立って対岸を見ている。牛の鳴く声のする長閑な風景、漸く春の萌しが見えて来た思いであろう。季節とそれに伴う自然と生業が、「牛の声」に凝縮された佳句である。

削れゆく中洲に残る猫柳

竹崎 光子

〔評〕猫柳が、その都度、つどの増水にも堪えて岩や砂利に、しっかりと根付いている。「柳に風」といわれて、強い風にも折れそうに見えて中々折れない、風雨に順応してしたたかに成長しているのが柳である。作者の心の中には、人生も生活も……と後につづく思いが籠められた句である。

飛石で渡る小川の猫柳

刈谷 志津

〔評〕山村の溪流である。春になって多少の増水はあっても、石を飛んで渡れる。溪流には橋が少ない、川中にある石を飛び渡って対岸へ行ける場所が随所にある。

この句には川に石は見えても水音がきこえない、おそらく涸れ川であろう。猫柳がもうそこに春の到来を告げているようである。

猫柳子等の笑顔の輝きよ

立木ゆう子

〔評〕早春の明るさを微妙にとらえた句である。二月といえば例年だとまだまだ寒気の最中ではあるはずだが、今年は今雪が降らない異常の中にある冬、このまま一気に咲く春に入る心配さえ見せている。「猫柳」という季語が猫を撫であやす子供の仕種を連想させ面白い「笑顔の輝き」に春のぬくさを感じさせる。

せせらぎの調べに目覚む猫柳 川村 博子
 衿立てて歩く水辺の猫柳 片岡 包女
 猫柳見かけによらずきつい人 間 浩太
 猫柳そつと差し出す無口な子 小島 良

日の匂い土の匂いの猫柳

岡本とも子

猫柳わた毛に温き日のやさし

大川 節弥

しばらくを風と遊ぶや猫柳

植田 紀子

ふる里の水面にゆるる猫柳

川村千因子

ほつほと白き生毛の猫柳

森元二美子

猫柳花芽揃いて老母百歳

友草 水月

猫柳ふくよかなるをつまみもし

津田 久美

せせらぎを子守唄とし猫柳

中野 好子

猫柳花穂にしづくを宿らせて

楠目 哲郎

水禍にも耐えて花つけ猫柳

筒井 眉躬

猫柳川辺に映える花穂

森岡 照月

猫柳童声なき里にかな

松尾満津於

寒鯉のしずかなりけり句碑の宮

川上こよね

杖とめて野水仙の香にひたる

筒井 文

春立つや那智の大滝ひかり増す

伊藤 たみ

冬ざれや女が使う耕耘機

弘瀬うき子

急流に落ちる椿の迷いなし

筒井 一平

足早に月日過ぎゆく二月かな

川村 愛

次 題 「入学試験・入学式」
 締め切り 毎月15日

投句先

吾北教育事務所 上八川甲2010

☎ 867-2133

国立大学法人等

職員採用試験

中国・四国地区国立大学法人等職員採用試験の試験案内の配布が始まりました。

受験資格

昭和53年4月2日～昭和63年4月1日生まれの者

受付期間 4月1日(日)～

第一次試験日 5月20日(日)

問い合わせ

中国・四国地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会採用試験事務室
 ☎ 082-424-5616

無料法律相談会を開催します

日時 4月26日(木)

13時～16時

場所 高知グリーン会館

2階 グリーンホール

共催機関

高知弁護士会、高知地方法務局、高知地方・家庭裁判所

問い合わせ

☎ 822-0340
 高知地方・家庭裁判所事務局長 務課